

『TASUKI PROJECT』

～大切なともだちに、ささやかなプレゼントを！～

東北・関東大震災で被災された方々へ、手から手へ、必要なものをお届けする
こんな時こそ、日本がひとつにならなくては！

被災された方一人ひとりをあなたの友達だと思って、届けたい人 受けとってくれる人その人を想像して私たちの想いを届けたい！そんな想いを「タスキ」にたくし、『TASUKI PROJECT』（タスキ・プロジェクト）はスタートしました！

★プレゼントをわたす相手は、東北地方に住んでいる、自分とおなじサイズ（身長・服のサイズ）のおともだち

（※自分のお子さんやお孫さん ご両親をイメージしていただいても！）

この支援品は、段ボールにつめこんで避難所にドーンと届けるのではなく 受け取ってくださる方を想像して、ギフトバック（支援品）を作って届けます。（現地の方が、仕分けする手間を省くためにも）

【用意していただくプレゼント（支援品）】

自分が、受け取った時に あ～うれしい！思える洋服やあったらいいな 便利だな これがなくなくて困っていたのよ 嬉しい！と私たちの心遣いにホッとできるものを選んであげて下さいね

■自分の持っているステキな服（ズボン・シャツ・上着・防寒着などなど）と、新品の下着とくつ下（洋服は、洗濯済みのもの）

■ポシェットかウエストポーチなど（貴重品を入れるものがあると便利、無ければ工夫して！）

■その他 「こんなものが入っていたらうれしい！あったら便利！」その袋を開けて ちょっと嬉しくなるあなたの“想い”をこめた品物

（例）爪きり・バンドエイド・化粧水・リップクリーム・カガミ・ヘアブラシ・歯ブラシ・針と糸・折り紙・ノート・クレヨン・鉛筆・お菓子（関西からはやっぱり飴ちゃん。あなたの町のおすすめのお菓子をひとつ）

■お手紙・メッセージは必ず入れてくださいね！お付き合いが始まるかも！？

■これで完成！チョット待って！

性別・年齢・身長・服のサイズ・を必ず書いて、外側のよく見えるところにシッカリ貼ってください。袋の中にどんなものが入っているのかがわかるようにするため。

お預かりした、『タスキ』は、僕たちのトラックで被災地に運び、あなたと同じサイズの方にお渡しします！

【必ず守っていただきたいこと】

★自分が、受け取った時に 来てみたいなあ〜と 思える品物を選んであげてくださいね

- 1 一人分をワンセットにしてバックに入れる（紙袋 バック リュック など）
- 2 受け取った方へのメッセージ（お手紙）を入れる（可能なら お名前も）
- 3 受け取る人に合う衣類セット（下着は必ず新品で）と品物を届けたいので以下の内容を必ず記載してください。衣類は 古着可ですが、洗濯されたもので
 - ・男性：名前・年齢・身長・ウエスト／季節 S・M・L・LL～
 - ・女性：名前・年齢・身長／季節 S・M・L～ or 5・7・9・11～
 - ・小さな子供：性別・名前・年齢・身長・季節
- 4 自分のデータ：名前・性別・身長・サイズ（袋に外貼り）
- 5 受け取る人が その袋を開けて ちょっと嬉しくなるあなたの想いをこめた品物

1セットでもかまいませんので 心をこめて作っていただければ嬉しいです。宮城 岩手に私たちの仲間が、中継点となって 現地の状況を見ながら手渡しで渡していく予定です。入れていただくバックは、マザーズバック リュック エコバック 等 その袋も受け取った皆さんがあとあと使えるものだと嬉しいですよね

※ 基本は「友達へのささやかなギフト」を想定してください。



このような形のギフトパックにして
現地に詳しい岩手・宮城の仲間の団体の中継点として届けていきます。

～ギフトパックができるまで～

梱包用の白い袋



段ボールなどで送ると被災地ゴミを増やすことになります。これは、被災地に届けた後、瓦礫などのゴミを捨てるために使うことができることを考慮してこの袋を使用することにしました。

袋にイラストを書きます



袋にいちまいずつ手書きでプロジェクト名と絵を書きました。受け取った方がこの袋のイラストを見て一瞬でも笑顔になってくださることを願っています。

パックの中身 例

女性用 パック 洋服だけではなく、あると便利なものを一緒に選んでみました。

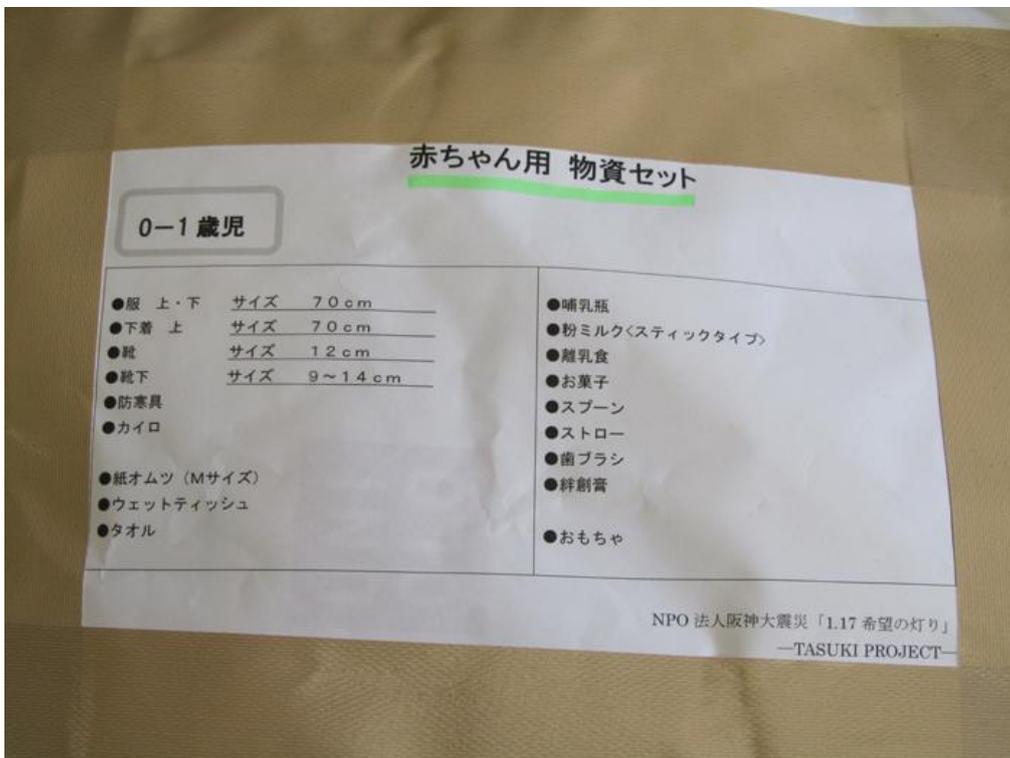






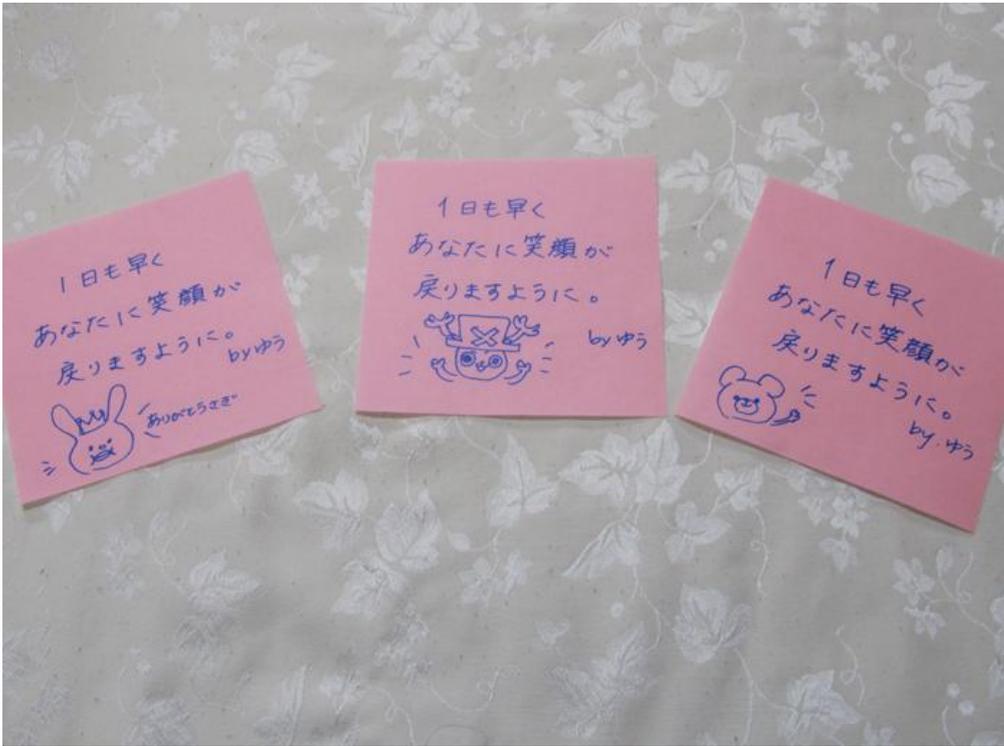
ウサギのポーチには、生理用品を入れてあります。このまま、持って移動できるようにと考えました。

袋の外に 中に何が入っているかを記載したものを貼る



何が入っているのか できるだけわかりやすいように記入していただければ、仕分けする私たちの負担が減り 大変助かります。できる範囲で結構ですので御協力お願いします。

一緒に梱包するメッセージ



簡単なメッセージでもいいですし、お手紙を書いていたいただいてもいいです。このメッセージを書くことで支援品に命が与えられ 私たちの被災された方々への想いが 受け取る皆さんへ伝わることを願っています。

ギフトパック完成



雨にぬれてもいいように洋服などは、ポリ袋に入れてあります。リボンは、ギフトの想いをこめただけではなく、現地で仕分けする方がわかりやすいように性別・年代で色分けしてあります。(赤：大人女性 紺：大人男性 ピンク：高校生ぐらいまでの女の子 水色：高校生ぐらいまでの男の子)

～皆さんから届いた支援品の仕分け作業～

仕分けスペース



ヴィッセル神戸の ホームスタジアム 「[ホームズスタジアム神戸](#)」の御協力をいただきスタジアム内のお部屋 2室を仕分け作業スペースとして使わせていただいています。

全国から届いた支援品（ほんの一部です）



皆さんが、心をこめて作成して送ってくださったギフトパック こんな感じで、作業中 どんどん荷物が届いています。皆様のご協力心から感謝しております。

仕分け作業中



中身を確認して ギフトバックに入れていく作業中。ネットなどを見て お手伝いをしたいと問い合わせをたくさんいただきました。中には15歳の男の子3人組も。この作業が一番、大変です。できるだけ作業の負担を少なくするために、規定通りにギフトバックを作って発送をしていただければ助かります。御協力をお願いします。また、お手伝いをしてくださるかた、随時募集中です。

お食事処



午前中から夕方までの作業のため、軽い食事を用意させていただいています。お昼休憩を利用して参加した方たちとの交流ができればいいなと考えています。

交流の時間



この日は、中国から日本に来ていらっしゃる方々がお手伝いをしてくださいました。他にもいろいろな思いを持って たくさんの方がお手伝いに来てくださっています。

また、近くを通りかかった 赤ちゃん連れのお母さんも私たちの趣旨に賛同してください、ギフトパックを作りたいとおっしゃってくださったことが とてもうれしかったです。

何かをしたい でも、何をすればいいの？そんな思いを持たれている方がたくさんいらっしゃいます。ギフトパックのイラスト描きをお願いした小学校の女の子のお母さん。娘が何かしたいと言っていたけれど 何ができるかわからなくて。。 イラストを描くことでこの子にもお手伝いができるのですね うれしいです ありがとうございますと、行っていただいたことが とても印象的でした。

阪神大震災を経験した神戸の街のみなさんや遠く離れた所から被災された人たちを想って 支援品を提供してくださった方々の想いが、被害を受けた方々の心に届きますように。そして、いつの日にか 再び笑顔が戻る日が来ることを願っています。

認定特定非営利活動法人阪神淡路大震災「1. 17 希望の灯り」

〒652-0865 神戸市兵庫区小松通 3-2-1 真川ビル 2 階

TEL：078-682-1117

FAX：078-682-1227

info[at]117kibounoakari.jp ([at]を@に変えて下さい)

ホームページ：<http://117kibounoakari.jp>

ブログ：<http://117kibou.cocolog-nifty.com/>